

科目名	臨床看護概論Ⅰ (臨床看護総論・経過別看護)					DP1 DP2 DP3 DP4 DP6	看護高等課程
学年	1 年	分野	専門 基礎看護 臨床看護概論	時間数	12 時間	担当 教員	寺坂 和代
科目 概要	様々な臨床看護活動の場で行われる看護活動や看護職者の役割や、対象と家族が置かれている状況、とくに、健康障害をもつ対象を理解し、疾病の経過に応じた看護の考え方を理解できる内容とした。また、地域との連携に必要な継続看護についての知識、その背景や重要性、退院調整の流れなどが学べる内容とした。						
到達 目標	1. 臨床看護活動の場や看護職者の役割と機能について理解することができる。 2. 看護の対象である患者や家族のそれぞれの経過レベル別の看護を学び、実際の援助の方法を考えることができる。 3. 継続看護の必要性や背景、退院調整について理解することができる。						
回数	単元項目			授業内容		形態	担当教員
1～6	臨床看護の特徴			臨床看護とは、臨床看護の場 看護師の役割と機能、臨床における看護師の役割		講義 演習	寺坂
	臨床看護活動と患者・家族の理解			患者・家族の理解			
	健康状態(レベル)の経過に伴う看護			健康状態(レベル)の経過・看護 健康の保持・増進・予防の看護			
				急性期にある患者の看護			
				回復期・リハビリテーション期にある患者の看護			
				慢性期にある患者の看護			
				終末期にある患者の看護			
				危篤時：死への看護			
	継続看護と多様な場における看護			地域包括ケア時代の継続看護 看護の継続とは、退院調整 多様な場における看護 医療施設における看護、外来看護 地域・在宅看護			
試験					試験		
評価 基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。 また、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。						
教科書	看護学入門Ⅶ 基礎看護Ⅲ 臨床看護概論 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							